

トピックス 84 6月 新人研修 安全な輸液の管理 (シミュレーション研修)

点滴治療中の患者の観察ポイントを知り、安全な輸液管理ができることを目的にシミュレーション研修を行いました。



講師

専門看護師 大森優子さん



点滴速度の調整を実際に行ってみました。
これで、指示通りの時間投与ができます！



ここはどのように確認して・・・
教育委員のメンバーから実践の指導を受けました



事例を通し、優先順位を考えながら、
一連の行動の中での輸液ポンプの確認を行いました

訪室時には、6R(正しい患者・正しい薬・正しい量・正しい経路・正しい時間・正しい目的)を確認することで、安全で確実な輸液の管理が行えることを学びました。



患者さんの皮膚の状態（刺入部の疼痛、腫脹、発赤、熱感、硬結の有無）を確認し、血管外漏出、静脈炎などの異常の早期発見に努めることができることを学びました。
写真で、静脈炎を確認しました。



実施者の行動を確認し、何が不足で何を実践していったらよいか
お互いに意見交換を行いながら研修を行いました。



研修を修了しての感想

1C病棟 大森 木村 坂本 溝井

静脈内に薬剤を投与しているため患者さんにとっては侵襲的な処置となる。看護師もそれを意識し、責任と自覚をもって薬剤、輸液ポンプの取り扱いを行うことが必要である。
点滴中の患者さんは、適宜訪室し、チェックリストを用いて刺入部から輸液ポンプを観察することが必要であることを学んだ。
わからないことをそのまま対応することは患者さんを危険にするため、先輩看護師に報告・相談し、共に対応していく必要がある。